

ギャラリー展示

Maki Textile Studio Exhibition -ganga 工房からの布-

Oriental Design Gallery

Maki Textile Studio Exhibition —ganga 工房からの布—

2015. 6. 11 [木]
—7. 14 [火]
11:00-20:00
(最終日は17:00まで)
無休/入場無料

● 記念講演会
2015年6月26日(金)
18:30-19:30
(無料/要申込)

● レセプション
2015年6月26日(金)
19:30-20:30
(参加無料)







上衣シングルヘルマ
シングルヘルマでプリントされたデザインをベースにした、繊細なテクニカルな生地を織りこみ、しなやかな肌触りで肌にもやさしい生地が特徴です。

BANKボーダー
綿織物シルク、麻織物の糸を組み合わせ、デザインをベースにした、繊細なテクニカルな生地を織りこみ、しなやかな肌触りで肌にもやさしい生地が特徴です。

ストール織り空豆織巾
定番「空豆ストール」の織り、手織り「空豆織巾」が特徴的な生地を織りこみ、しなやかな肌触りで肌にもやさしい生地が特徴です。

kot(スカート)
織りこみの上で、定番の糸を織りこみ、しなやかな肌触りで肌にもやさしい生地が特徴です。

素材 シルク100%
綿織物・麻織物・ポリエステル・コットン・シルク



■期間：2015年6月11日(木)～7月14日(火) 無休/入場無料

■時間：11:00～20:00 (最終日は17:00まで)

■場所：オリエンタルホテル広島 1階 オリエンタルデザインギャラリー (広島市中区田中町6-10)

■展覧会によせて

手からうみだされるもの

インドで仕事を始めて、もうじき三十年。長らく首都デリーで仕事をしてきましたが、五年ほど前、この地に工房を構えました。近場を流れる母なる河ガンジス(現地名 Ganga ガンガー)にちなみ、ganga工房と名づけました。染織・縫製などの仕事と並行し、周囲の土地を耕し、種をまき、木を植えて、染料植物や野菜を育て、少しずつ収穫が始まっています。最近はお蚕も育てています。繭から糸を挽いたり、真綿にして紡いだり、また、ヒマラヤ山中で遊牧される羊たちの毛を他の繊維と混ぜたりして、糸づくりも無限に広がります。遊牧民の知恵に倣って工房の一角に穴を掘って地機も作りました。自然の恵みと忘れかけている人の知恵と手わざを拾い集め、毎日の暮らしの中で心地よい衣や布づくりを目指しています。その風合いを手で触れて、身に纏ってみることで、一枚の布の背景にある空気を感じていただけたら嬉しく思います。

真木 千秋

展覧会関連イベント

■記念講演会（無料）

出演：真木千秋（テキスタイルデザイナー）

日時：2015年6月26日（金）18:30～19:30

場所：オリエンタルホテル広島 3階「チャペル」

定員：80名（参加無料・要予約・先着順締切）

※お電話にてお申し込みください。

■オープニング・レセプション（参加無料）

日時：2015年6月26日（金）19:30～20:30

場所：オリエンタルホテル広島 1階 ロビー

■お問い合わせ・お申し込み

オリエンタルデザインギャラリー 082-240-9463（直） 受付時間 11:00～20:00

■真木千秋 Maki Chiaki [テキスタイルデザイナー] プロフィール



1960年に武蔵野に生まれ育つ。80年武蔵野美術短期大学工芸テキスタイル科卒業後渡米。ボストン美術館付属美術大学校、マサチューセッツ州立美術大学の夜間部を経て、ロードアイランド造形大学に編入。81年アメリカ・メイン州のヘイタック・クラフトスクールにて、ファイバーアーティストのSheila Hicksのアシスタントをする。82年ロードアイランド造形大学在学中 textile for 80th 展がきっかけで桐生のテキスタイルプランナー、新井淳一と出会う。85年アメリカ・ロードアイランド造形大学卒業後、ニューヨークでフリーのテキスタイルデザイナーとして働くその間、中南米、東ヨーロッパなどを訪れる。90年東京の里山・五日市に住みついて創作活動をはじめ、インドでの織物作りに本腰を入れ始める。94年沖縄西表島の染織家、石垣昭子さんと出会う。97年石垣昭子さん、真砂三千代さんと南の島発信「現代の衣」真南風プロジェクトを始める。98年真南風をニューヨークで発表。2000年南アフリカ、ケープタウンのデザインスクール・Madessaで開催された、「Textile Tomorrow」ワークショップで講師。06年秋、あきる野市の仕事場「竹の家」の敷地内に竹林の店をOpen。あきる野市の竹の家に日々は、春には近くの養蚕農家の繭を座繰り、夏は藍建て、藍の栽培など他、竹の家の周りでの仕事を楽しまつつ制作を続けている。10年ヒマラヤの麓に半農半工を志す人々とともにganga工房を立ち上げ、日々素材作りから、紡ぎ、染め、織り、仕上がりまでの布づくりを始める。12年夏、Studio Mumbaiのビジョイジェイン氏に出会い、手紡ぎ手織りを彷彿とさせる趣の新工房建設プロジェクトがはじまり現在進行中。

【本イベントに関するお問合せ先】

オリエンタルホテル広島 マーケティング部 PR&セールスプロモーション TEL:082-240-9462（直） FAX:082-240-9460
〒730-0026 広島市中区田中町6-10

下菌 悠 E-mail:haruka.shimozono@oriental-hiroshima.com

※画像のデータをお送りいたします。上記電話番号またはメールアドレスまでご連絡ください。